

大増税・大軍拡の挙げ句に日本が戦場に？！ 2023.8・19 岐阜総がかり行動 お礼とご報告

2023年8月20日

戦争させない・9条壊すな！岐阜総がかり行動実行委員会

「大増税・大軍拡の挙げ句に日本が戦場に？！」と題した「8・19岐阜総がかり行動ー第26弾ー」を、いつもの「清水緑地公園」(岐阜市)で開催しました。

心配した「熱中症警戒アラート」発表の日



となり、開催可否を現地で決めるという際どい判断でしたが、普段と変わらぬ120人に参加してもらえました。

以下「参加御礼」を込めて「報告の記」とさせていただきます。

さすがに過酷なデモは中止とし集会のみ。

それも、いつもなら舞台宣伝カーの裏手にあたる木陰に富むマウンドに皆さんが座り込む形で実施。シュプレヒコールやボード上げアピールが無い、アットホームな雰囲気になりました。



オープニングは、お馴染みとなったシンガーソングライター・杉山三四郎さん(児童書専門書店「おおきな木」店主)のギター弾き語りでオープン。戦争に前のめりな岸田政治を皮肉った「始まったら終わりだぜ」など4曲を熱唱してもらいました。

集会メインは、構成3団体をそれぞれ代表する方々の挨拶で進行。

「もう黙っとれんアクション実行委員会」の高橋恒美さんは、スポーツ選手に「あっぱれ」や「喝(かつ)」を進呈するテレビ番組に習って、岸田政権が取り組む「マイナンバーカード」や「軍拡」姿勢に「ノー」を突きつける「喝!」の手作りカードを掲げる手法で、



政権を批判しました。



「戦争をさせない1000人委員会岐阜県実行委員会」の子安英俊さんは、余りにも酷い政治の現状を怒り、「平和をしっかりと堅持できるよう手を携えよう」と訴え、「憲法9条を守る岐阜県共同センター」の近藤真さんは、福島原発の「汚染水海洋放出」のカラクリを解説

して、その違法性と撤回を求めました。

このように、非常事態の開催でしたが「こんな形態の集会もまた、乙(おつ)なモノだね」の声が聞かれました。

